

ゼオライト土嚢等処理の進捗状況について

2026年 2月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 【背景】 処理方法の概要

- プロセス主建屋（PMB）、高温焼却炉建屋（HTI）の最下階(地下2階)における高線量化したゼオライト土囊・活性炭土囊（以下、ゼオライト土囊等）は、リスク低減のために回収を計画。回収は、水の遮へい効果が期待できる水中回収を軸に検討を進めている。
- PMB・HTIの最下階のゼオライト土囊等は回収作業を“集積作業”と“容器封入作業”の2ステップに分け、作業の効率化を図る計画。
- なお、土囊袋は劣化傾向が確認されており、袋のまま移動できないことから、中身のゼオライト等を滞留水とともにポンプで移送する方式を基本とする。

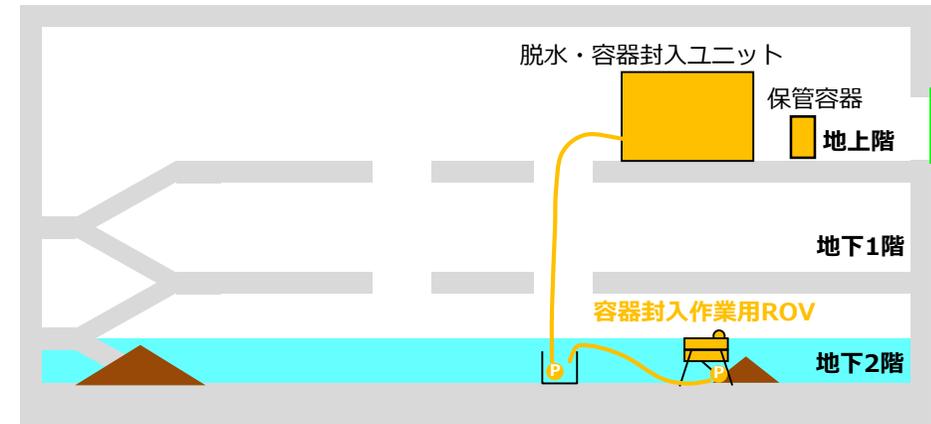
ステップ① 集積作業

- ✓ ゼオライト土囊等について、作業の効率化による工期の短縮（完了時期の前倒し）を目的に、容器封入作業の前に集積作業を計画。
- ✓ 集積作業用ROVを地下階に投入し、ゼオライトを吸引し、集積場所に移送する。
- ✓ 階段に敷設されている活性炭は、水流を用いて、遠隔で地下階に移動させる。

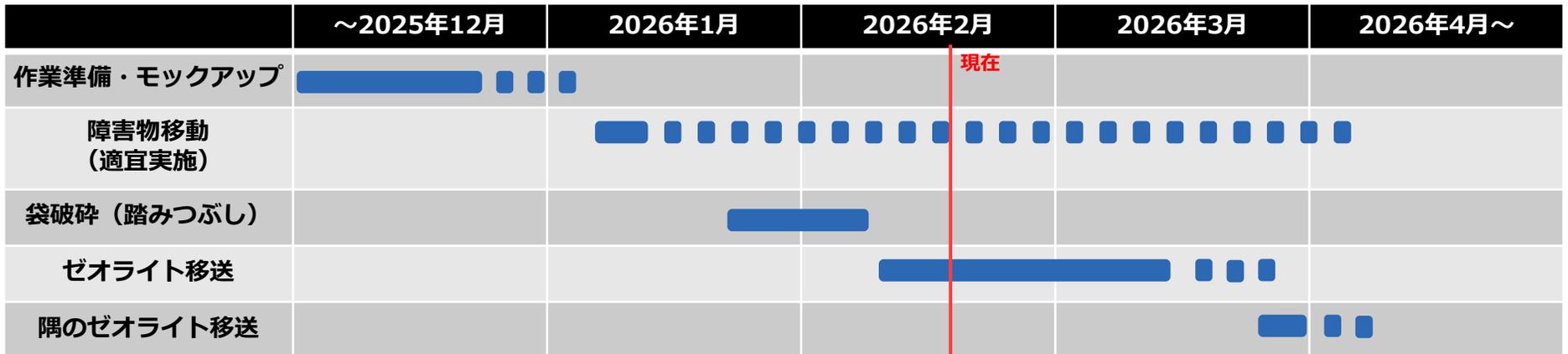
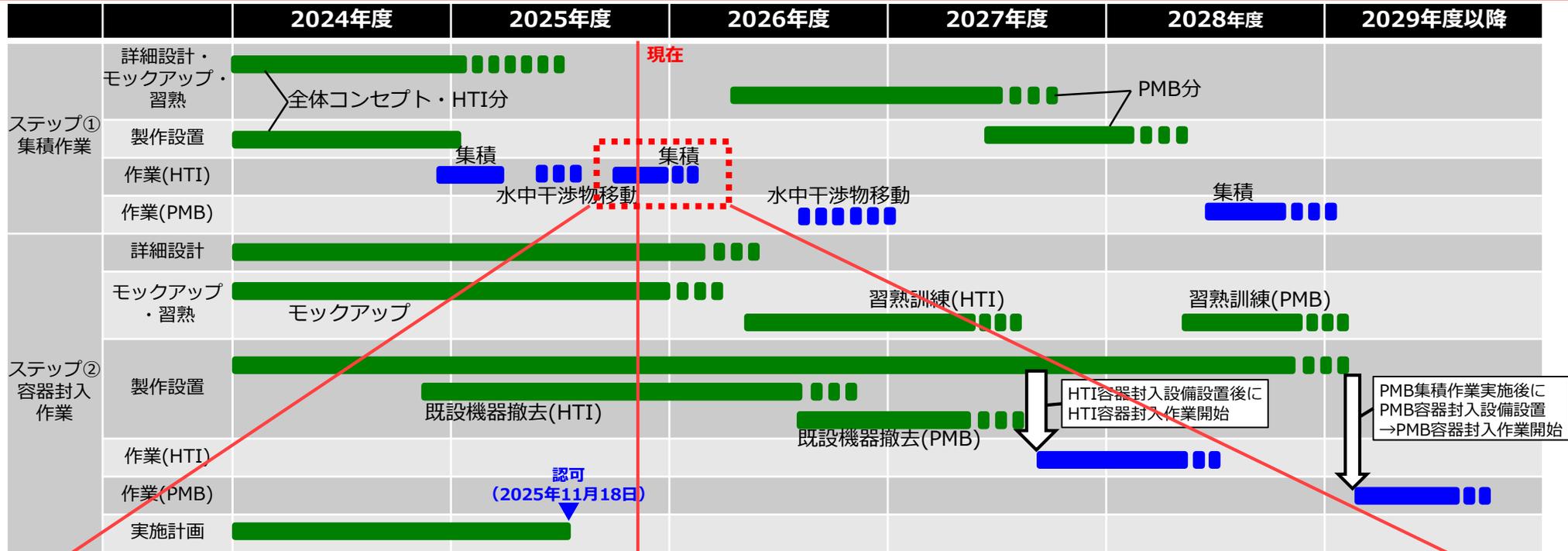


ステップ② 容器封入作業

- ✓ 集積されたゼオライト等を容器封入作業用ROVで地上階に移送し、建屋内で脱塩、脱水を行ったうえで、金属製の保管容器に封入する。その後は33.5m盤の一時保管施設まで運搬する計画。



2. ゼオライト土嚢等処理工程について



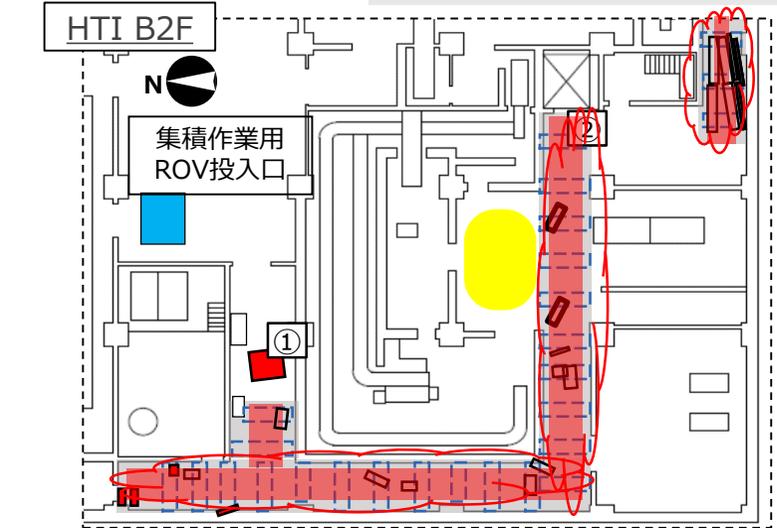
※ 現場の作業進捗に応じて、適宜見直していく可能性有り。
 なお、集積作業用ROVの累積線量が上限値に達する場合は、事前に新品と交換する。

3. HTI集積作業の実施状況（2026年2月の実施状況）

- ゼオライト土嚢集積作業は2025年3月よりHTIにて現場作業を開始しており、まずは試験的に3列程度の集積が完了。残りのゼオライト土嚢については、「①土嚢袋の破碎（踏みつぶし）」作業を実施した後、ゼオライト集積予定箇所への「②ゼオライト移送(隅の移送含む）」を実施。
 - 「①土嚢袋の破碎（踏みつぶし）作業」は1月28日より開始し、2月4日に完了。
 - 「②ゼオライト移送(隅の移送含む）」作業は2月10日から開始。順調に作業を実施中。
 - 集積作業用ROV下部の吸引ノズルカメラで、ゼオライト粒子が視認困難な状況(照明の問題と想定)を確認しているが、もともと濁水環境を想定して、SROVに搭載したソナー等を併用して作業をしており、それらで作業進捗を確認しているため、作業に影響はない。

作業内容	作業進捗度（2026年2月24日時点）
①土嚢袋の破碎(踏みつぶし)	100%（26列※/26列）
②ゼオライト移送(隅の移送含む)	約70%（約102㎡※/約146㎡）

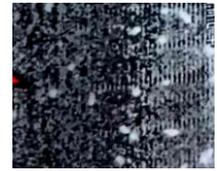
※ 2025年3月の試験的作業時に実施した3列分を含む。



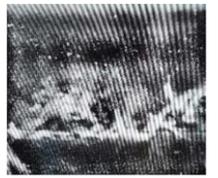
- 土嚢袋設置位置 (土嚢袋の破碎(踏みつぶし)後)
- ゼオライト集積箇所
- 残っている干渉物 (移動した破損ロッカー, タクト, 蛍光灯カバー等)
- 干渉物 (移動済)
- 集積実施済部分
- 集積対象部分(約146㎡)
- ☁ 2026年2月の作業進捗箇所 (2026年1月29日~2月24日時点)



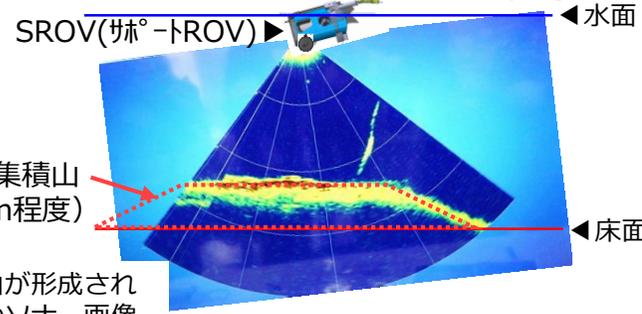
集積作業用ROVの操作室の様子



今回の吸引ノズルカメラ画像
※白点は放射線ノイズ



(参考)
前回の吸引ノズルカメラ画像
※2025年3月



ゼオライト集積山 (高さ40cm程度)
移送先に築山が形成されている状況のソナー画像 (2026年2月12日)

移送時の吸引状況

【参考】作業の進捗度について

- ゼオライト土嚢処理の作業進捗度は、今後、下記のように進捗度を評価していく。

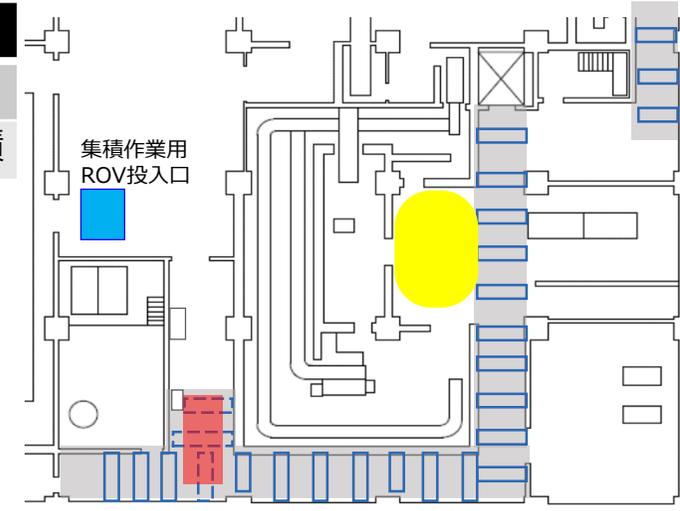
- 集積作業

集積作業用ROVを地下階へ投入した後、大きく「①土嚢袋の破砕（踏みつぶし）」、②「ゼオライト移送（治具を取り付けた後の隅のゼオライト移送含む）」の2ステップで作業を進めて行く予定であり、それぞれの進捗度を下記のように評価していく。

作業内容	進捗度の基準※2
①土嚢袋の破砕(踏みつぶし)	実施列数/全土嚢列数(26列)
②ゼオライト移送(隅の移送含む)※1	集積実施済部分面積/集積対象部分面積

- ※1 土嚢袋の破砕(踏みつぶし)後は、敷設した土嚢列が広がり、隣同士が繋がる可能性があるため、設置面積（廊下の面積）とソナー等で確認した実施面積から進捗率を評価。
 ※2 現在まで、3列程度の集積が完了。
 それぞれの進捗率は①約12%、②約10%（未実施の隅部分を差し引いて評価）

- ▬ 土嚢袋設置位置（土嚢袋の破砕(踏みつぶし)前）
- - - 土嚢袋設置位置（土嚢袋の破砕(踏みつぶし)後）
■ 集積実施済部分(2025/12現在)
■ 集積対象部分(約146㎡)
● ゼオライト集積予定箇所



HTI建屋の例

- 容器封入作業

容器封入作業は集積されたゼオライト等を容器封入作業用ROVで地上階に移送し、金属製のゼオライト等保管容器へ封入する。ゼオライト等保管容器の想定基数はHTIで15基※3、PMBで20基※3であり、発生した本数を作業進捗度として評価していく。

- ※3 設置当時の記録・事前調査結果にスラッジ等の異物分を加味して評価した基数であり、実際に作業を進めて行く中で、基数は前後する可能性有り。